

訪問看護ステーション・介護支援事業所における  
災害時の充電確保のための受入れに関するアンケート調査 実施要領

1 調査目的

伊丹健康福祉事務所では、在宅人工呼吸器装着難病患者が災害発生時において安全な療養生活を継続するため、公的機関や病院等における避難・電源確保が可能な場所の把握、患者家族の自助力向上に努めている。

災害発生時は患者が避難先にすぐ向うことができないことも想定され、その場合は自宅避難のための医療機器の電源確保が必要である。そこで、支援機関において資源の有無や活用の可否等の状況を把握し、体制整備やネットワークづくりの基礎資料とするためアンケート調査を実施する。

2 調査実施目標

- (1) 各機関における電源確保のための資源の状況が把握できる。
- (2) 災害発生時に支援機関における資源の活用の可否や条件について明確にする。
- (3) 各機関が感じている災害時の課題について把握できる。

3 調査対象

管内の訪問看護ステーション 67 カ所  
管内の居宅介護支援事業所 96 カ所

4 調査方法

郵送・メール調査

5 調査票の調査方法及び締め切り

- (1) 調査票を郵送またはメールにて送付。
- (2) 締め切り 令和5年12月1日(金)17時
- (3) 返信先・問合せ先 伊丹健康福祉事務所地域保健課  
(担当 大末・細見・青木)  
電話 072-785-7874  
FAX 072-777-4091  
Mail Yurika\_Oosue@pref.hyogo.lg.jp